

離床センサー 現場レポート！

VOL. 34
Mar.2012

「離床センサーをお使いの現場から、様々な工夫をご紹介します！」

ベッドコールで離床行動、トイレ入り口に敷いたコールマットでトイレ行動を検知している、D園様の工夫をご紹介します！

千葉県・D園様

ご使用機種：コールマット / ベッドコール・ポケット (HCP/BCP-1)

課題

スタッフの目が届きにくい個室トイレでの転倒危険、また、離床行動による転倒危険のある入居者がいる。



対策

離床行動報知 = ベッド上での起上りを知らせるベッドコール
 トイレ行動報知 = トイレ出入口に踏むと知らせるコールマットを設置した。
 また、どちらのセンサーが鳴っているか（単なる離床行動か、トイレ行動か）を識別できるように、受信器での報知チャンネルをそれぞれに設定した。



効果

ベッドコールで離床行動、コールマットでトイレに入る・トイレから出る両方の行動を検知、介助できるようになった。
 チャンネル識別を設けたことで、トイレ行動対応には速やかに、離床行動はなるべく自然に対応するよう、対応も分けることができた。

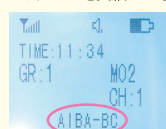


ポケット受信器の「名称登録」で簡単識別！

ポケット受信器はチャンネルごとに、名称登録が可能です。
 例えば今回「アイバさん」という名前が入居者だった場合、アイバさんのBC(ベッドコール)、HC(コールマット)などと登録することで一目でどちらのセンサー報知かがわかります。

*名称登録はアルファベットと数字、記号の組み合わせで8文字まで可能です。

ベッドコールを受信した時



コールマットを受信した時

